

日本中央競馬会令和5事業年度決算等に関する公告

東京都港区西新橋一丁目1番1号
日本中央競馬会
理事長 吉田 正義

1. 令和5事業年度の貸借対照表及び損益計算書の要旨

貸借対照表の要旨

一般勘定

(令和5年12月31日現在)

(単位：百万円)

資産の部		負債及び純資産の部	
科目	金額	科目	金額
流動資産	349,642	流動負債	63,066
固定資産	865,614	固定負債	34,914
有形固定資産	597,349	資本金等	1,060,861
無形固定資産	32,441	繰越利益剰余金	56,928
投資その他の資産	235,823	評価・換算差額等	-512
合計	1,215,257	合計	1,215,257

損益計算書の要旨

一般勘定

(令和5年1月1日から令和5年12月31日まで)

(単位：百万円)

費用の部		収益の部	
科目	金額	科目	金額
事業費用	3,263,082	事業収益	3,316,632
勝馬投票券諸支払金	2,499,039	勝馬投票券収入	3,297,816
国庫納付金	329,640	事業収入	18,816
競馬事業費	140,743	事業外収益	4,877
競走事業費	143,655	特別利益	79
業務管理費	150,002		
事業外費用	-		
特別損失	1,578		
当期純利益	56,928		
合計	3,321,589	合計	3,321,589

貸借対照表の要旨

特別振興資金勘定

(令和5年12月31日現在)

(単位：百万円)

資産の部		負債及び純資産の部	
科目	金額	科目	金額
流動資産	84,055	流動負債	767
固定資産	37,059	特別振興資金	120,347
有形固定資産	36,611		
無形固定資産	366		
投資その他の資産	82		
合計	121,115	合計	121,115

損益計算書の要旨

特別振興資金勘定 (令和5年1月1日から令和5年12月31日まで) (単位：百万円)

費用の部		収益の部	
科目	金額	科目	金額
事業費用	34,732	事業収益	1,111
競馬振興事業費	11,255	特別振興資金減少額	33,621
畜産振興事業費	4,763		
払戻金上乗せ費	7,580		
競馬法に定める地全協 への交付金	11,133		
合計	34,732	合計	34,732

(注) 1. 固定資産の減価償却の方法は定額法(機械・装置については定率法)による。

2. 有形固定資産の減価償却累計額は一般勘定で852,437百万円、特別振興資金勘定で11,390百万円である。

2. 主たる事務所の所在地、ディスクロージャー担当部署及びその電話番号

- | | |
|-------------------|-----------------|
| (1) 主たる事務所の所在地 | 東京都港区西新橋1丁目1番1号 |
| (2) ディスクロージャー担当部署 | 総務部 情報公開室 |
| (3) 電話番号 | 03-3591-5251 |

3. 令和5事業年度の事業計画の概要

(1) 競馬の開催

競馬場	開催回数	開催日数	競馬場	開催回数	開催日数
札幌競馬場	2回	14日	東京競馬場	5回	45日
函館競馬場	2回	12日	中京競馬場	4回	32日
福島競馬場	3回	20日	京都競馬場	3回	29日
新潟競馬場	4回	26日	阪神競馬場	5回	46日
中山競馬場	5回	42日	小倉競馬場	3回	22日

- ・ 合計開催回数 36回
- ・ 合計開催日数 288日

(2) 馬主、馬（競走馬）及び服色の登録並びに調教師及び騎手の免許の実施

馬主、馬（競走馬）及び服色の登録並びに調教師及び騎手の免許について、厳正に実施する。なお、馬主の登録及びその抹消並びに調教師及び騎手の免許及びその取消しにあたっては、あらかじめ公正審査委員の意見を聴き、厳正を期す。

(3) 厩舎関係者の養成等

競馬学校において騎手及び厩務員の養成を行い、技能等の開発・レベルアップに資するため、養成システムを充実し、実践的かつ体系的な指導・教育を行う。また、厩舎関係者に対する研修を実施し、技術・知識の向上等を図る。

(4) 特別振興事業等

- ① 競馬の健全な発展を図るため必要な事業を特別振興資金を使用して実施する。
- ② 畜産の振興に資するための事業に対し、特別振興資金を使用して、交付金を交付する。
- ③ 特別振興資金を使用して、払戻金への上乗せを実施する。
- ④ 地方競馬全国協会が行う競走馬生産振興業務及び競馬活性化業務に対し、特別振興資金を使用して、交付金を交付する。

4. 令和5事業年度の事業報告の概要

(1) 競馬の開催状況

競馬場	開催回数	開催日数	競馬場	開催回数	開催日数
札幌競馬場	2回	14日	東京競馬場	5回	45日
函館競馬場	2回	12日	中京競馬場	4回	32日
福島競馬場	3回	20日	京都競馬場	3回	29日
新潟競馬場	4回	26日	阪神競馬場	5回	46日
中山競馬場	5回	42日	小倉競馬場	3回	22日

- ・ 合計開催回数 36回
- ・ 合計開催日数 288日

(2) 馬主、馬（競走馬）及び服色の登録並びに調教師及び騎手の免許

登録等の種類	登録等の数	取消の数	事業年度末数
馬主の登録	177名	122名	2,795名
競走馬登録	5,534頭	5,401頭	9,185頭
服色の登録	113件	100件	2,057件
調教師の免許	192名	2名	190名
騎手の免許	151名	7名	144名

※ 上記のほか、国際交流競走に係る馬主の登録が1名及び取消が4名、競走馬の登録及び取消が2頭、服色の登録が1件及び取消が4件、調教師の免許者が2名及び騎手の免許者が7名あった。また、地方競馬との指定交流競走に係る馬主の登録及び取消が24名、競走馬の登録及び取消が63頭、調教師の免許者が61名及び騎手の免許者が61名あった。また、臨時試験による短期騎手免許者が14名あった。

(3) 競走馬の育成

日高育成牧場及び宮崎育成牧場において、2歳馬74頭及び1歳馬74頭の育成を行った。また、日高育成牧場及び宮崎育成牧場において、当歳馬9頭、1歳馬8頭及び2歳馬9頭のJRA生産馬の育成を行った。

(4) 騎手の養成・訓練

競馬学校において騎手の養成を行い、6名が卒業した。令和5事業年度末現在の在校生数は20名である。

(5) 特別振興事業等の実施

- ① 競馬の健全な発展を図るため必要な事業を特別振興資金を使用して実施した。
- ② 畜産の振興に資するための事業に対し、特別振興資金を使用して、交付金を交付した。
- ③ 特別振興資金を使用して、払戻金への上乗せを実施した。
- ④ 地方競馬全国協会が行う競走馬生産振興業務及び競馬活性化業務に対し、特別振興資金を使用して、交付金を交付した。

5. 政府からの出資額

49億2,412万9千円（資本金の総額）

6. 子会社一覧

会社名	資本金	競馬会の 議決権所有割合
JRAシステムサービス株式会社	500,000千円	※54.5%
JRAファシリティーズ株式会社	300,000千円	※94.9%
日本馬匹輸送自動車株式会社	36,000千円	100%
株式会社中央競馬ヒール・センター	20,000千円	※64.3%
日本スターティング・システム株式会社	10,000千円	100%
競馬セキュリティサービス株式会社	100,000千円	※0%

※子会社を含めた議決権の所有割合100%（令和5事業年度末現在）

7. 組織の概要

(1) 役員の数

理事長1人、副理事長1人、理事10人以内及び監事3人以内

(2) 各役員の氏名、役職及び任期等（令和5事業年度末現在）

役職	氏名	任期	経歴
理事長	吉田 正義	2023年9月12日～2026年9月11日	日本中央競馬会副理事長
副理事長	山口 英彰	2023年9月12日～2026年2月28日	日本中央競馬会常務理事
常務理事	臼田 雅弘	2023年3月1日～2025年2月28日	日本中央競馬会理事
理事	植木 聡	2023年3月1日～2025年2月28日	日本中央競馬会 総合企画部長
理事	清水 靖博	2023年3月1日～2025年2月28日	日本中央競馬会 プロモーション部長
理事	橋本 次郎	2023年10月1日～2025年9月30日	日本中央競馬会総括監
理事	佐野 健吉	2023年3月1日～2025年2月28日	日本中央競馬会競走部長
理事	菊田 淳	2023年3月1日～2025年2月28日	日本中央競馬会審判部長
理事	飯田 久隆	2023年3月1日～2025年2月28日	日本中央競馬会 経理部審議役
理事	小林 哲也	2023年3月1日～2025年2月28日	日本中央競馬会 美浦トレーニングセンター場長
理事	吉成 公伸	2023年9月12日～2025年2月28日	日本中央競馬会競走部長
監事	高嶋 民治	2023年10月1日～2025年9月30日	日本中央競馬会 総合企画部長
監事 (非常)	田中佐知子	2022年9月16日～2024年9月15日	弁護士
監事 (非常)	小谷実可子	2022年9月16日～2024年9月15日	NPO法人 日本オリンピックズ協会理事

(3) 職員の定数（令和5事業年度末現在）

1,799名